

(2) Bさん(2013年5月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

私は現在、第一原発免震重要棟入口での業務に従事しております。

歴代の首相、大臣、国会議員、他県からの議員、福島県知事、他県の県知事、議員と称する、お偉い方々の福島詣で口にする言葉は「福島の再興なくして、日本の再興なし、皆さんの頑張りが・・・」です。

そのたびに作業員が、Jビレッジの中央に駆り集められ、ピーアールに利用されます。時には、有名タレント気取りのニュースキャスターや有名俳優が夫婦で来て演歌の競演をしたり。

視察の団体が通過するまで私たち作業員は暑かろうが、寒かろうが、シャットアウト。

我々原発作業員の存在は、何なんですか！

国策、東電の人災事故の後処理であるのに、危険極まりない、原子炉の最先端労働を強いられ、一旦、第一原発に入城したら、勝手に

は出られません。

休憩所は外気が通過する場所、そこでの休憩、食事で安全がありません。作業員はこの様な現状の中、ストレスが極限です。

そして、賃金は納得できるものではありません。

国も、国会議員も、有識者も、議員と称する方々も、メディアも福島の新聞も、触れてはイケナイ物にフタをし、葬るのでしょうか、唯一、表現しているのは共産党と、東京新聞です。

お願いいたします、作業員へ目を向けて下さい。あの震災直後を、思い出して下さい、作業員がJビレッジにどんな状況で、集合させられたか。

除染作業では危険手当を出すように国が指示しているのに、何で私たちは危険手当が支給されないのか。

(3) Cさん (2013年5月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

こんにちは。30代、建築関係で従事する者です。

僕は、震災前は工事現場で働いていて、原子力発電所とは全く無縁でした。

原発事故後の報道で今まで聞くことはほとんど無かった核物質の名前。避難する沢山の入達を画面で頻繁に見るようになった時はいよいよ日本も終わりなのかと本気で思いました。

少しでも多くの人間が福島原発の収束作業に向かわないと、このまま日本に人が住めなくなるのではないかという不安があったし、原発作業員、自衛隊、レスキュー隊の方たちが必死に食い止めようとする姿に心を打たれ、自分もこの場所で貢献出来ることができないか？これが、僕が福島第一原発で働くことを決心した理由です。

2011年の夏から働き、主に建築グループの

カバーリング、瓦礫撤去工事関係の仕事をしていました。

無人重機や無人クローラークレーンなど最新の技術を用いているように見えるけど、結局細かい部分には人が作業を行うということに、まず驚きました。

被曝を減らすために15キロ近くあるタンクステンベストを着ての人海戦術、慣れてくれば作業員も当たり前のように行なっていましたよ。

また、使ったクレーンなどは、放射能で汚染され、第一原発以外では使えなくなります。

人が運転するクローラークレーンなどは東電や元請けに買い取って貰い使い捨てるわけですが、金額など初めから提示されるわけでもないのです。クレーン業者は、安く買い取られても損をしない古い型や使いづらいクレー